

令和4年度 第3回酒田市体育施設整備懇談会 懇談要旨

日 時	令和4年11月28日(月) 15:45～16:45
場 所	酒田市総合文化センター2階 205号室
参 集 者	委 員／池田里枝、中條庸右、莊司敏博、尾形律香、齋藤勉、丸山清、川守田義則、丸山昌彦 酒田市／池田教育次長、齋藤課長、土門主査兼係長、本間調整主任
配布資料	・次第 ・光ヶ丘野球場整備方針(案) ・光ヶ丘野球場コスト計算書

1. 開 会

2. あいさつ(委員長)

3. 懇談(進行:委員長)

酒田市光ヶ丘野球場の整備方針(案)について (資料説明:事務局)

(委員)

○資料にある電光掲示板の改修とはどういったものか。電光掲示板そのものを交換するのか。

⇒(事務局)表示されなくなった電光掲示板を改修するにあたり、パソコンやソフトウェアといったシステムの入れ替えを行うもの。昨年の夏はかなり暑かったこともあり、電光掲示板の内部が熱くなって劣化が進んだと聞いている。

(委員)

○屋外照明は、資料のA案では撤去のみで後は造らない、B案は撤去して6年度に新しいものを造るということか。

○ダイヤモンドや外野の整備は入らないのか。

⇒(事務局)A案は撤去のみを5年度で行うもの。B案は新しいものを建てるにあたり令和5年度の1年間、設計の期間を設けることから観客席に人が入れない状態が継続する。グラウンドの土や芝の整備よりも優先すべきこととしている。

(委員長)

○B案による同一年度内の撤去と設置が行えれば、国土交通省の補助金が入る可能性がある。野球場は光ヶ丘公園という都市公園に設置されていることから、危ない状態は継続してしまうが公園の整備ということで特定財源を使って改修する案になる。

(副委員長)

○以前の懇談会において、夜間照明は要らないという話があった。

○野球場に医務室が整備されていないとか雨漏りやトイレの改修など、大会を開催するにはそちらの改修が重要になるのではないか。

(委員)

○今の光ヶ丘野球場では、照明は練習でしか使用していないこともあって、危ないままにしておくよりは無い方がよいと話した。

○照明施設がないと都市対抗野球などの大きな大会を呼ぶことができない。河川敷の野球

場みたいな扱いになるので、撤去した後でも将来的には直して設置するのが理想である。

- 中体連の東北大会開催が、令和6年度に庄内で予定されている。照明の工事が6年度に計画されると酒田では大会ができなくなるが、工事するにはしかたないこと。

- 照明を新しくする際は、場所は同じところになるのか。

⇒（事務局）場所は設計の際に、外側に建てて照度が確保できるように設計すれば変えられる。

（委員）

- ソフトボールの県大会以上の公式試合は、照明設備がない場合は使用できないとなっているので照明は必ず必要である。そうしないと大きな大会は招致できない。

- 交流人口の増加や、人を誘致するという経済面も考えていかなければならないので、照明は早期に整備する。

- 委員長から説明があった補助金関係を利用して、令和6年度に新しい照明を設置してもらえればありがたい。

（委員）

- 令和4年、5年、6年と資料にあるが、必ずこの通り進むのか。途中で頓挫したり計画がなくなるということはないか。せっかく方向づけしたのはいいが、途中で止まってしまった、令和6年度には間に合わないとはならないか。

- 前回の懇談会でも話題になったが、民間の力で知恵をしぼってお金を集める方法を考えたほうがよいのではないか。野球はサッカーと並んでいろいろ携わっている人が多く裾野が広い。

（委員長）

- 市で財源を集める手法としてクラウドファンディングがある。各学校の野球部のOB、OG、関係者に大会競技の関係者から呼びかけていただき、酒田市でクラウドファンディングの手法を使うことができると思う。また、ネーミングライツとして、規則を変える必要はあるが広告の枠を作り、光ヶ丘野球場ではなく企業の名前を冠した野球場にすることもできる。

- 国土交通省の補助金は補助対象経費のおよそ1/2で、例えば工事費が1億円であれば5千万円が入っている。この補助に申請するが、補助が付くかは分からない。

（委員）

- 野球関係のコーチをされている方に、酒田には大会を呼べないと言ったところ、「隣にいくので構わない」と言われた。中体連や高体連が酒田でできないようなことが続くと、非常に残念に思う。

（委員）

- 県内に古い球場は残っていて、米沢、新庄も古い。山形は霞城公園にあったグラウンドをこわして、きらやかスタジアムという立派な野球場を5年前に造った。県野球場も古いで、きらやかスタジアムが県内で一番いい球場とされている。

（委員）

- 危険な場所については照明塔を撤去し、今後利用するときに使えるようにする必要がある。撤去費用については国土交通省の補助の都合があるので来年すぐにはいかないが、とにかく撤去を早くしないといけない。その後に新しく建てる。

- スタンドの防水改修も同年度に行うと6年度の使用制限期間が長くなり、中体連など様々な大会に影響を及ぼすがやむを得ない。予算の負担が大きくなるが、B案でいくしかない。

（委員）

- A案で5年度に撤去して6年度に建てるとなると、2年間使えないことになる。令和6年

度の一年間使えないことが前年度中に分かれば、今から調整はできる。

(副委員長)

○同一年度でやらないと特定財源は入らないのか。

(委員長)

○補助金のことを踏まえると、同一年度内で行うほうがいい。

(委員)

○やはりB案になる。

(委員)

○この問題からすればB案。

(委員長)

○使うお金は皆様からの税金と、国からの交付税になる。特定財源の補助金を使いたいが酒田市にあるお金のパイは変わらないので配分の話になる。

○特定財源という事で国庫補助金をいただいたり、皆様から意見が出ているようなクラウドファンディングで関心のある方からお金をいただく、あるいはOB、OG会を通して寄付を募る、そのあたりが理想なのではないか。

(委員)

○照明がなければ大会ができないのなら、照明は必要になる。しかし照明を造って大会を呼べるようになったところで、観戦に来た人は照明への関心は薄らいでしまう。野球場に来たらトイレが古く救護室も無いことについて、どう対応したらいいのだろうか。

○企業にお願いして、トイレだけでも別棟で駐車場に造り、体の不自由な高齢者や小さな子どもづれでも安心して使えるような場所を用意すると、イメージは違うのではないか。

(事務局)

○先にスタンドの防水改修をして、雨漏りが解消したという事が確認できたら天井やトイレを改修したい。照明や人工芝に比べれば事業規模は小さいので、防水改修が終われば改修していきたい。

○照明や人工芝となると何億円もかかる話なので、それは皆さんの意見を聞いて優先順位を決めていきたい。

(委員)

○野球をするのが優先だが、応援で来た人はあまり関心が無く、自分にとって不都合な所が目につく。そのため、天井やトイレの改修を同時に行って欲しい。

(委員長)

○スケジュール感が必要。雨漏りが止まれば内部工事の範囲になる。

○トイレ等の便益施設を外に造るということについて、公園の補助金を狙えるのではないか。

(事務局)

○公園施設のトイレの更新は行っている。新設があてはまるのか確認する必要がある。

(委員)

○スタンドに上がって両側にあるトイレが和式か。

(事務局)

○半分程度の便器が和式になっている。

(委員長)

○スケジュール感だが、今から工事に伴う大会開催の調整は可能か。

(委員)

○令和6年度に関してはまだ決まっていない。今の時期で翌年度の予定はほぼ決まっている。

- 来年度は電光掲示板のこともあるので、4～6月に大きい大会が入らないよう調整した。ただし、5月に酒田市の大会がある。
(事務局)
- 電光掲示板の改修は6月までは間に合わない。納期が6か月と言われていて、発注、契約してから6か月後になる。
(委員長)
- 今は世界情勢の影響で、部品も含めて納期の長期化が問題になっている。
(委員)
- 今年8月の大会の時に表示が消えて、それ以来点かなくなった。10月に東北大会を酒田で開催したが、来た選手たちが「この球場はスコアボードも点かないのか」と話をしていてのを聞いた。
(委員長)
- 12月補正予算として12月の市議会定例会に提出するという話を先ほどしたが、順調に進んだとして契約行為が1月や2月になる。そこから入札等になるので、6か月の納期となると完成は7月、8月になる。
- 工事そのものは機器を入れ替える程度なので時間はかからないが、物が入ってくるまで今の情勢では非常に時間がかかる。また、安心して受注できるスケジュールを設定しないと入札が無く、不調になってしまう。そのため債務負担行為を設定し、今、お金はないが来年度に必ず支払うという約束をする。
(委員)
- 電光掲示板の建物の中はすごい温度になる。旗揚げの時に中の階段を上がって行くが、上に行くだけでも汗ダラダラになる。
(委員長)
- コンピューターはものすごく熱を持つ。改修後は廃熱処理とか大丈夫か。そのあたりの対策をしてもらわないといけないので、発注する際には遮熱対策の確認をした方がよい。
(委員)
- 防水スタンドは席を取り外して施工するとのことだったが、その後に天井も直していくのか。
⇒(事務局) 防水改修して、間違いなく雨漏りが止まったことを確認してから内部の改修に向かう。防水改修してすぐ天井を直したが、施工が悪くてまた雨漏りとなると大変なので、止まったことを確認してから内部を直したい。
(委員長)
- 議員さんの関心も高く、スポーツ振興課に一生懸命言ってくる方もいる。連盟から要望書も出されている。
(委員)
- 連盟からの要望書は10月7日の夕方に、市長に時間をいただいて提出した。
(委員長)
- このように市民の方も後押ししている。ソフトボール関係で懸念はないか。
(委員)
- 今のところはこの方針案が優先でいい。この方針はここ1、2年の話だが、野球場の建て替えの話は進んでいるのか。
- 現状の野球場を見ると、酒田の顔となるメイン球場にするなら改修するよりも場所を変えて、新しく球場を建設するのが一番ベターだと思う。もし移転した場合の話だが、今の野球場は第二球場のような形で多目的な施設として残し、その代わりに八幡や松山の球場を廃止して、統廃合という形で施設を整理していく。

○将来的にはメインとなる野球場が必要ではないか。移転した場合に今の野球場を多目的に使用することができれば、いろいろな関係団体で有効的に使える。その代わり移転した場合は予算がかかる。

(委員長)

○県から第二球場を庄内に造っていただければいいのだが、県営施設の整備はどうしても内陸に集中する。

(委員)

○照明、雨漏り、これは直さないといけない。建て替えてから30年くらい経ったか。
⇒(事務局) 建て替えは平成11年に行っている。照明の設備は前の球場からそのままなので、照明だけが古い。

(委員長)

○今の野球場はつぎはぎの施設になっている。以前は土の上にベンチを置いた観客席だった。

○人工芝はお金がかかるので今回の整備案から外したが、整備についてほかに何かないか。

(委員)

○野球場そのものの排水が悪いし、スタンドの下の方も水が溜まる。土の入れ替えもここ5～6年実施していないが、絶対にしないとイケない。観戦するだけならいいが、野球をやる方からは光ヶ丘野球場ではやりたくないと言われる。そのあたりも考えてもらいたい。

(委員長)

○第一優先の次の課題になる。実際に使ってみてどうか。

(委員)

○土の質もあると思うが、確かに水はけは悪い。最近の野球場の土は固く、スパイクで掘っても掘れないくらいのもが主流になっている。きらやかスタジアムも、内野はスライディングしても掘れない。光ヶ丘野球場は土よりも砂で、暗渠も効いてないから水も抜けない。

(委員)

○グラウンドの表面が目詰まりを起こしている。浸透が悪いからいつまでも溜まってる状態が続く。表面を少し取って新たな土を入れるとまた浸透する。使えば使うほど目詰まりを起こすのは致し方ないことで、いつまでも同じではない。メンテナンスは必要になってくる。

(委員長)

○だいたい意見は出尽くしたようだが、事務局から何か確認したい件はあるか。

(事務局)

○ありません。

(委員長)

○以上で今回の懇談会を終了させていただく。本日、皆様からいただいた貴重なご意見ご要望は、1月に開催予定の庁内関係部課長会議に報告をさせていただく。その部課長会議での検討結果は、第3回のスポーツ推進審議会でも報告させていただく。

○今回の結論としては皆様、補助金を活用しながらB案を押し出すということでよいか。

4. その他

なし

5. 閉会